

大分大学教育学部附属小学校 学級経営研修

2024. 4. 16

グローバルリーダー（Think globally、act locally）の育成
～未来へ向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、
自己を磨き合う子どもの育成～

受
け
の
県

外
国
外
国

グローバルリーダーに求められる
確かな学力の育成
～情報活用能力の育成～（2年次）

究
点
を

学級経営

学習指導要領「総則」第4の1

(1)学級経営の充実

(2)生徒指導の充実

(3)キャリア教育の充実

(4)指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充実

学習指導要領では、『学級経営は、特別活動を要として計画され、特別活動の目標に示された資質・能力を育成すること』でさらに深化が図られ、このことが「**学びに向かう集団づくりの基盤**」であると位置づけている。

（「小学校学習指導要領 解説特別活動編」2019年）

学級経営の充実は、生徒指導から授業改善まで広げられている

学級集団が形成されていなければ
「主体的・対話的で深い学び」は成り立ちません。

『総合教育技術』2020年2月号より

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、
子どもたちが協働し、自ら問題解決していくような
学級集団づくりが求められています。

『総合教育技術』2021年12/1月号より

上越教育大学教職大学院 教授 赤坂真二

日頃の学級経営が、授業に反映される

生徒指導提要（2022年12月改訂）

「自己指導能力の獲得をめざす」

生徒指導提要（2022年12月改訂）

教科の指導と生徒指導の一体化した授業づくり

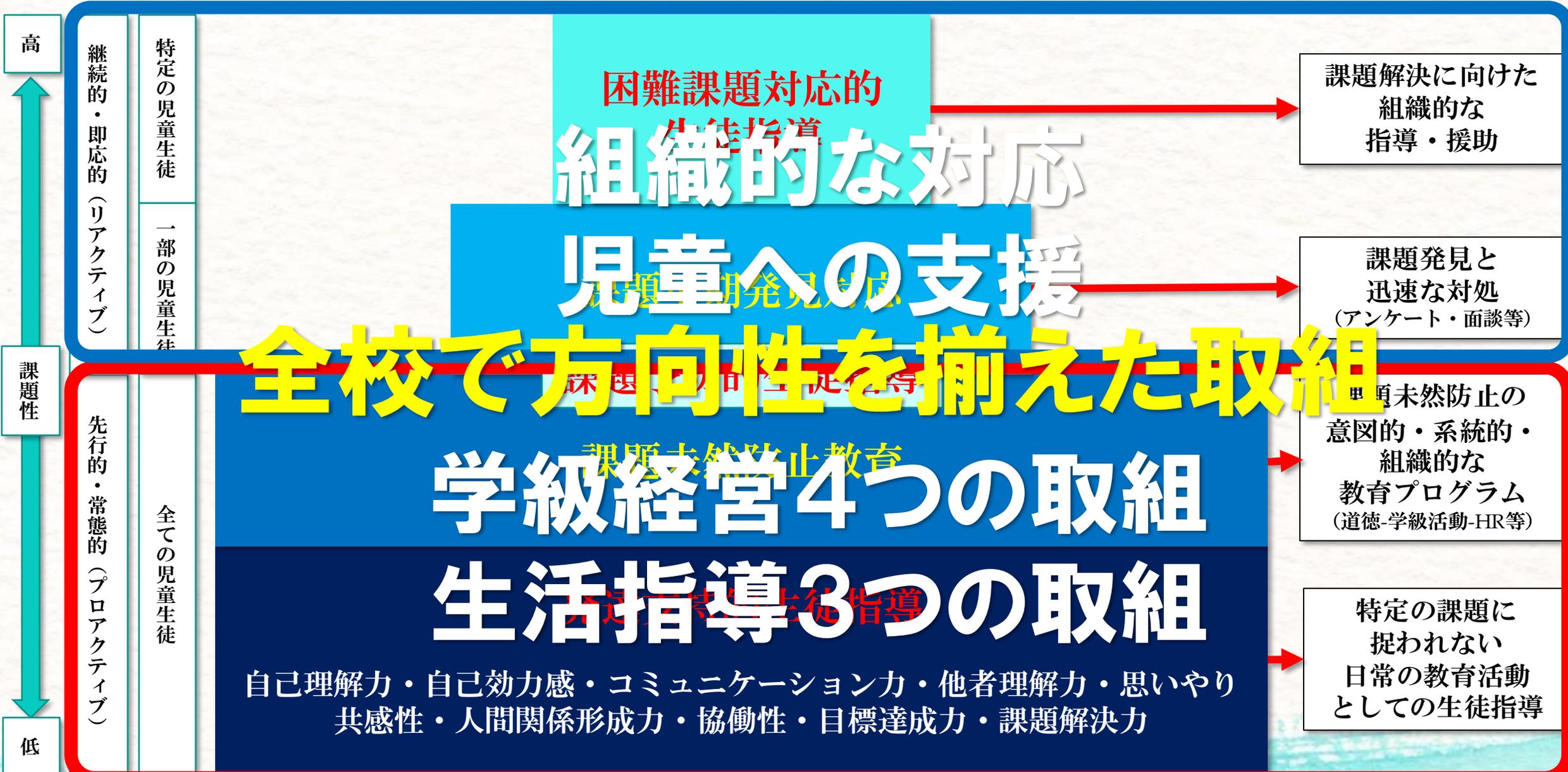
(1)自己存在感の感受を促進する授業づくり

(2)共感的な人間関係を育成する授業

(3)自己決定の場を提供する授業づくり

(4)安心・安全な「居場所づくり」に配慮した授業

本校の取組と「生徒指導提要」の関連



フリートークの取組

1. 本校が取り組むフリートークとは・・・

お題に沿って、児童が自由に自分の考えを伝え合う活動



* 山口大学附属山口小学校の取組を参考に...

正対して聞くことで互いを知る良さを分ち合うことができている⇒安心して話せる



互いの良さが「わかる」ようにする取り組み フ
リートーク

ほめ言葉のシャワーの取組

1. 本校が取り組むほめ言葉のシャワーとは・・・

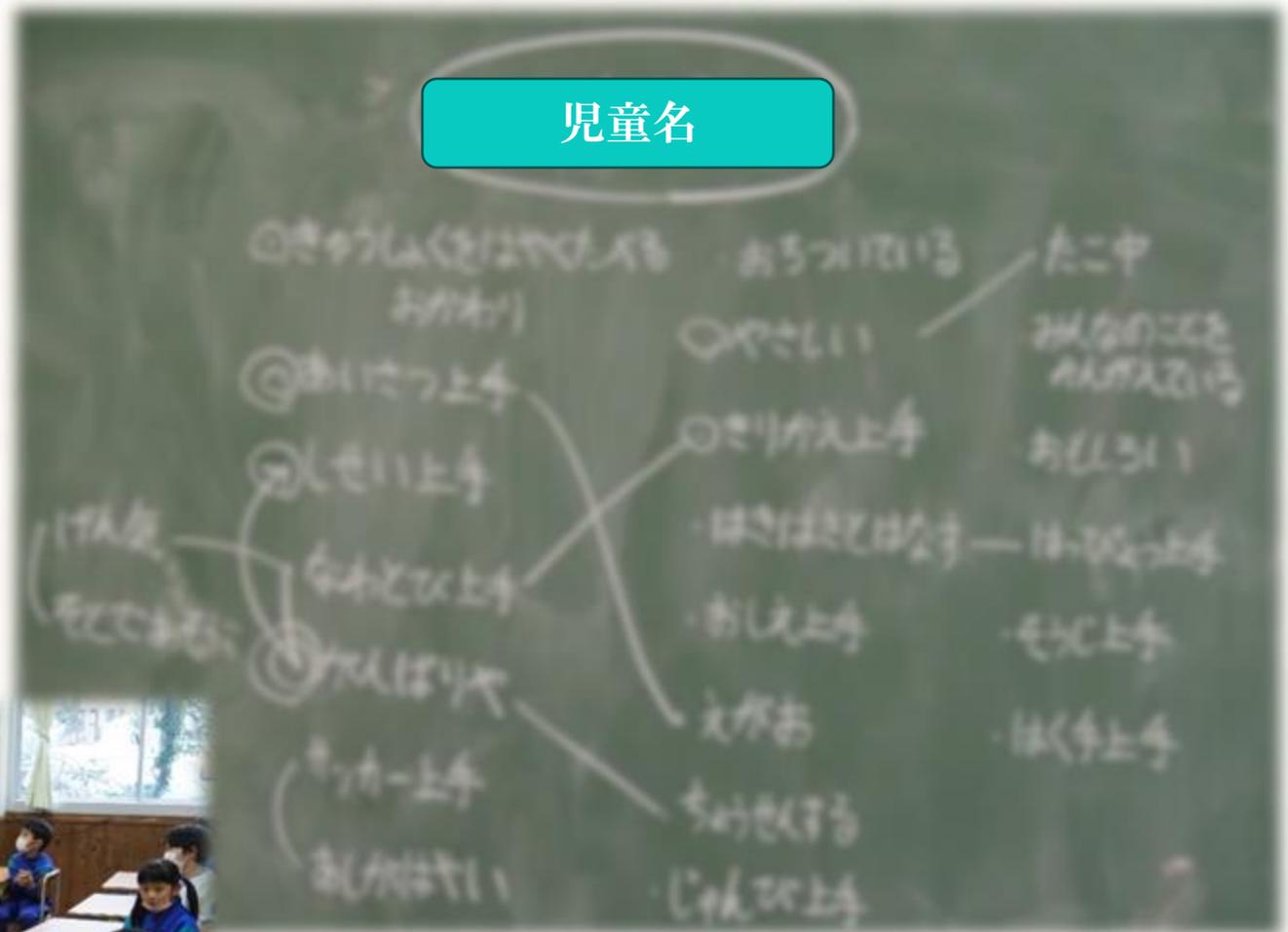
一人ひとりの良いところやがんばりを見つけ合い伝え合う活動



*「小学校発！一人ひとりが輝くほめ言葉のシャワー」
菊池省三 日本標準

ほめ言葉のシャワー





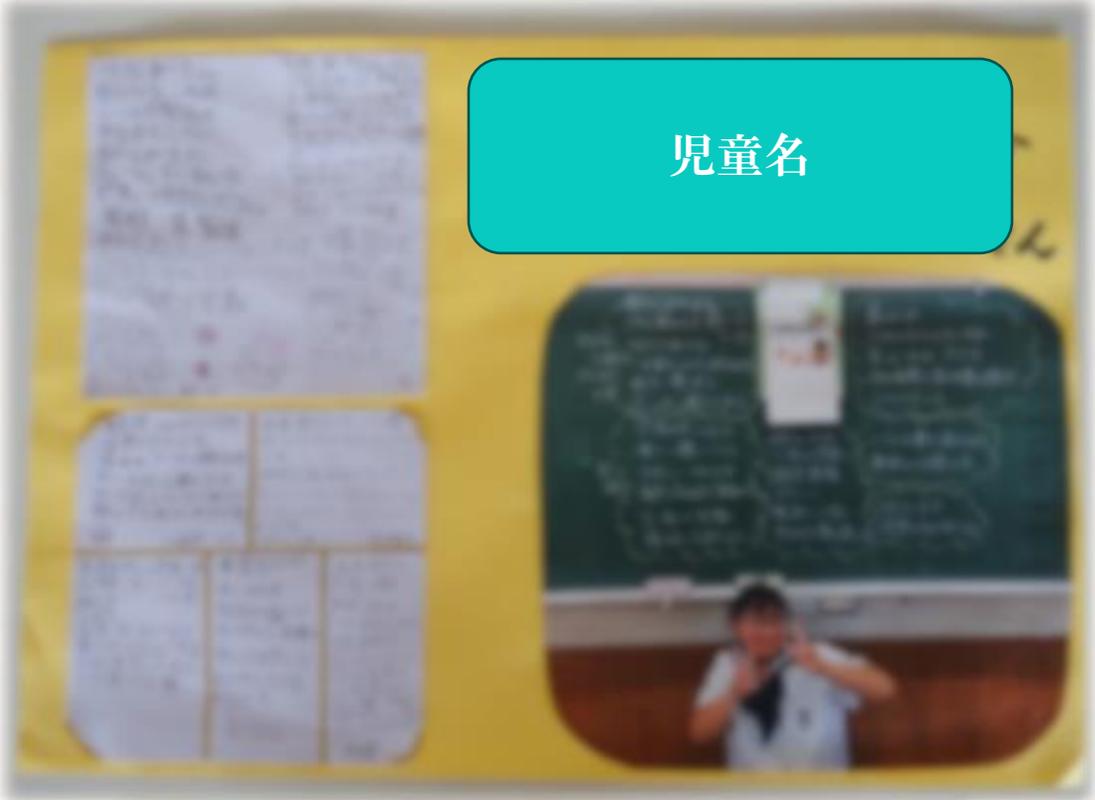
児童名



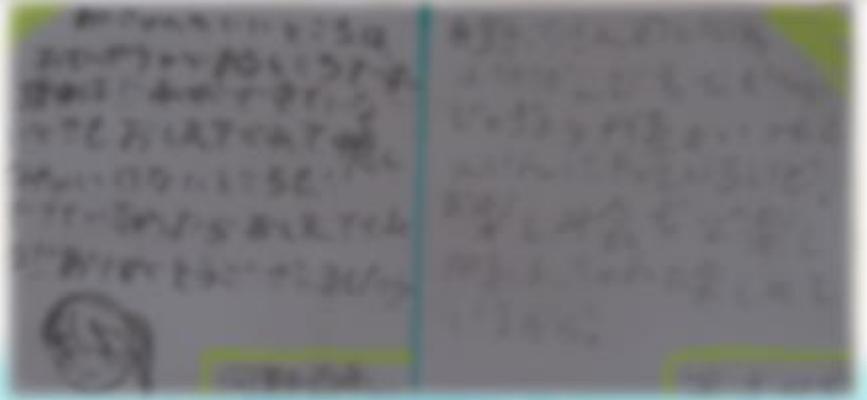
【黒板に共有】
1人ひとりのほめ言葉を板書

ほめ言葉のシャワー

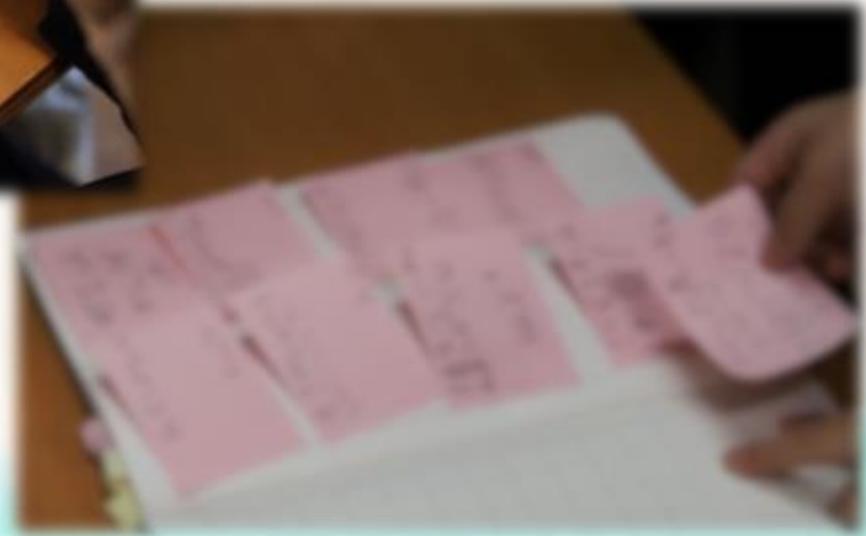
ほめ言葉のシャワー



児童名



【黒板やカードで共有】



ほめ言葉のシャワー

児童名

児童名

児童名

児童名

【一人一人のほめ言葉のカードを教室に掲示】

価値語の取組

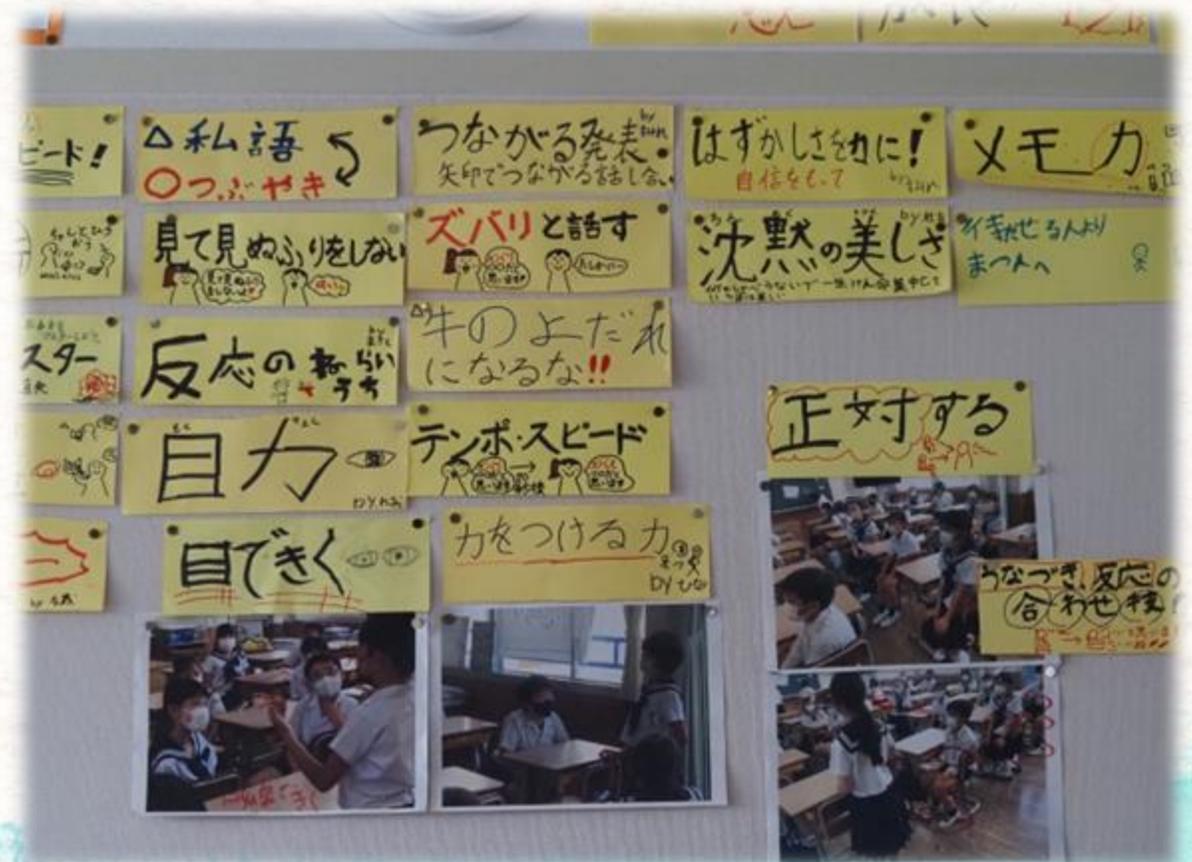
1. 本校が取り組む価値語とは…

子どもたちの考え方や行動をプラスに導くための言葉。また、広めたいと思う姿、良い姿、目指す姿を表した言葉

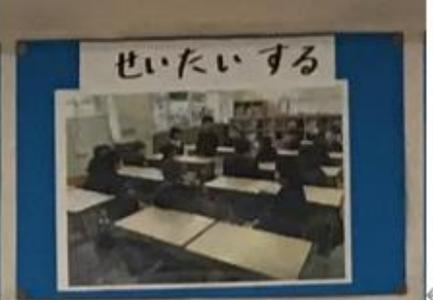
* 菊池省三先生の実践を参考に…

2. 価値語のねらい

目標＝価値語を示すことにより、子どもたちの感化を促し、自発的な成長を目指す



4. 1年間の見通しの持ち方

時期	年度初め	年度中期	年度終わり
内容	<ul style="list-style-type: none"> • 学級全体に共通させたい重要な行為 • 生活や学習規律、学年で共有したい姿 	<ul style="list-style-type: none"> • 非言語の良さや友だち関係の美しさ • 行事に関連して • 心情、内面 など 	<ul style="list-style-type: none"> • 1年間の成長を振り返って (成長を実感) (次年度に向かう)
<div style="text-align: center;"> <p>← 規 律 →</p> <p>4月 ←————→ 3月</p> <p>← 生 き 方 →</p> </div>			
例			<p>*資料① 参照</p>
			

分かち合いを促す指導



「うずまき」みたいに見えるってすごいね 相手を大切にできているってことだね



反応、うなずきが「やわらかい雰囲気」に 全員で発言し聞くことは「りりしき」に

価値語



あたまをさげて
とまってにっこりえがお!!

あいさつ

いつでも
どこでも
だれとでも

互いの良さが「わかる」ようにする取り組み **価値語**

価値語

5年生
準備期間

5年生
力をたくわえる
大きく発展



視線・学び合い



話し合い、対、全員参加



6年生のレポート、積極性



正対、姿勢、空気感

せきに入らぬ
えらぶ



「この人なら!」の気持ちで
厚みのあるえらぶは、
えらぶ方にもせきに入らぬ

厚紙会でさめる



いちぶの人はいなく
みんなが話し合えて
さめると、みんな、
なっとくできるね。

話し合う



1人で話さないことも
大切なこと。みんな
いっしょに考えようね。

めづかしいはくち



さめくしていても、
友だちがしっかり聞
いてはくれてくれる
ぞいするね。

分からは...とは聞く



分からは...とは聞く
とさにはす直に聞く
自分がたすからわ。

けいけんを生かす



給食の日。
クラスがわかれてスム
スにできているわ!

先生がいなくても



時間にはおらねえ
考どうできているね
おにじきやがはじかぬ

へんてく話す



「ほくは100と思っけ
どはどう?、自分の
考えをもって話せるの
がいいね!



成長ノートを取組

1. 本校が取り組む成長ノートとは…

「自分の内面を見つめ、それを自分の言葉で書き記していきながら、教師と子どもがつながり、成長へと向かうためのノート」

* 菊池省三先生の実践を参考に…

G (よかった)	P (もうすこ)	S (これからどうする)
<p>。ちやんとみんなにせ いたいがアアきた。 。手をあけることガ 。でも、今の話は聞 けた 。あてがた、いろうん人 にあってた。 。ふりかえりのときはお しいええ 。せきがた えがおでさけた</p>	<p>。あてもらえがアア 。手はあげたけど 。声の大きさ 。おもしろいことをい えなかった。 。みんながた、 のふりかえりとい はなかった。</p>	<p>。あてと大きく声をだして 。はい、という。 。ゆうをみて、大 声でいう。 。まじ日は、びうしてゆう をみておもしろいとい いう。 。おたのみのことをいう。</p>

よ
う。
フ
リ
ー
ト
ー
ク
の
ふ
り
か
え
り
を
し

2. ふりかえりをしましょう。

④ わたしはしゅうちゅうしてつなみのひ
なにのしかたをおぼえたけど、まだ
わたしは「あはしち」の(あ)がまもれて
いない。前の人と月見があいちゃってた
まにはしゅちゅうしたからわたしは
つぎの舞台いなくていいけど、ほかにのくんねん
びも自分のよくひょうは前の人と月見をあげ
いことだ。からそれをしっかり(あ)を
はりたいてです。

<てきた>	<あまりでなかつた>	
声を大	ぐたいて	で私
きく	き	が
相手の	おわり方	う
目を見	メリハリ	れ知
て	他の人と	しら
他の人	かぶってし	かな
とかぶ	まう	つい
らない	見つけわ	たこ
うれし	すれがあっ	てと
そう	たはんのう	すを
はく	色々な言葉	ほ
しゃ	をつかっ	ため
ゆっ(り)	かち語	て
言えた		く

リ	の	で	し人	
きこ	次す	でた	の私	らほ
いと	か	も	方は	うめ
ム	をら		を	言葉
を考は	少	むし		の
あえ	し	い		シ
げて聞	話	てか		ヤ
てい	す	り		ワ
もて	声	せと		ー
言っく	か	い		を
いとれ	小	た話		ふ
たて	さ	いし		り
い声い	か	でて		か
でのる		きい		え
すボ人	た	まる		

成長ノート

信頼と承認の空間としての教室

自己承認

相互承認

- ◎フREETーク
- ◎ほめ言葉のシャワー
- ◎価値語
- ◎成長ノート
- 人間関係づくり
プログラム 等

自分は自分で
OK

相手もOK

信頼関係

学級経営の4つの取組については
活動の意義や目的を理解し、子どもたちと共有することが大切
です。ただやるだけでは、子どもたちの成長にはつながり
ません。活動のスタート、活動中の振り返り等で意義や目的、
成長の様子について子どもたちと一緒に考えていきましょう。
そして、**活動を日常化に繋げていきましょう。**

